

東京都立神経病院

Tokyo Metropolitan Neurological Hospital
Neurology Training Program

東京医師アカデミー

サブスペシャルティ レジデント

5つのコースを設置

内科履修後の方は
神経内科コース

脳神経内科履修後の方は
臨床神経生理コース
認知症コース
てんかんコース

小児科履修後の方は
小児神経コース

東京都立神経病院 運営理念

あらゆる神経・筋疾患、特に神経・筋難病に対し
1. 高度、専門、総合医療を広く都民に提供することを目的とする
2. 本質的には研究・教育病院としての性格を持つ
3. 医療のみならず予防から福祉に至る過程の重要な中核病院として
社会福祉政策面においても貢献すべき使命をもつ
ことを理念とする。

地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立神経病院
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-6-1 TEL 042(323)5110 <https://www.tmhp.jp/shinkei>



2029年の新病院に向けた新たな船出が君を待っている

神経病院は2022年
地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立神経病院へと進化。
2029年の難病医療センター(仮称)開設に向けて
新病院の建設がスタートしています。



難病患者さんの請願により設立された神経病院

東京都は、神経難病の患者会からの要望を受け、1980(昭和55)年、“スモン”と“水俣病”の臨床的病態の解明に大きな貢献をした樫忠雄新潟大学脳研究所神経内科教授を初代院長に迎えて、脳神経系の専門病院として都立神経病院を開設しました。

開設以来、当院はあらゆる脳神経系疾患、特に神経・筋難病に対する高度専門医療を都民に提供することを目的に歩んでまいりました。

当院では、将来の神経難病診療を担う研修医を広く募集しています。全国最大規模の神経専門病院での研修を基に、神経難病の診療、研究・教育、社会福祉政策面で大きく貢献してくださることを期待しています。



沿革

昭和45年	神経総合センター(仮称)設立促進大会(スモンの会、東京進行性筋萎縮症協会主催)で神経専門病院の建設を東京都に要望。神経病院設立準備委員会を設置
昭和55年	都立神経病院開院
平成10年	日本医療機能評価機構による認定 (財)日本医療機能評価機構 病院機能評価(一般病院種別B)の認定を受ける
平成14年	東京都神経難病医療ネットワーク 東京都神経難病医療拠点病院の指定を受ける。東京神経難病医療ネットワーク事業に参加する
平成17年	神経内科専門臨床研修医(シニアレジデント)の研修を開始
平成21年	電子カルテシステムを導入
平成29年	東京都多摩難病相談・支援室開設(東京都福祉保健局からの受託事業)
平成30年	ロボットスーツHAL®(医療用下肢タイプ)を使用したリハビリの開始
平成31年	科学研究費補助金取扱規定大2条第1講第4号に規定する研究機関に指定(臨床研究室)
令和2年	外国人患者受入れ医療機関認証制度(JMIP)認証取得
令和3年	ALS/MNDセンター開設、神経病院1階に「専門外来」開設 包括的てんかん専門医療施設認定取得
令和4年	地方独立行政法人化

東京医師アカデミー サブスペシャルティレジデント 5つの研修コース

A

神経内科専門医コース

診療科: 脳神経内科

目標の資格: 日本神経学会認定 神経内科専門医

B

臨床神経生理学会専門医コース

診療科: 脳神経内科

目標の資格: 日本臨床神経生理学会専門医
(脳波、筋電図・神経伝導分野)

C

認知症学会専門医コース

診療科: 脳神経内科

目標の資格: 日本認知症学会専門医

D

てんかん学会専門医コース

診療科: 脳神経内科

目標の資格: 日本てんかん学会専門医

E

小児神経専門医コース

診療科: 小児科

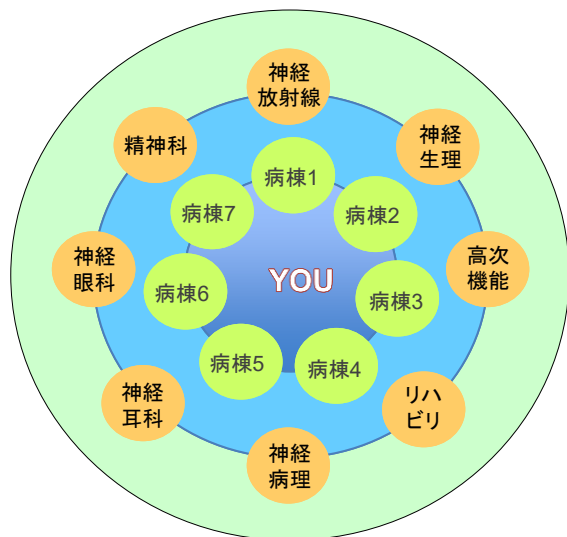
目標の資格: 日本小児神経学会専門医



神経内科専門医コース

診療科:	脳神経内科
目標の資格:	日本神経学会認定 神経内科専門医
特長:	内科履修後の方が神経内科専門医資格を目指すコースです。
条件:	内科認定医・専門医の方、または内科専門研修の修了要件を満たした方で、神経病院に採用された方 若干名
研修期間:	1～3年(研修進捗状況に応じて雇用期間更新の可否を毎年決定)
注意点:	院外研修はできません。

研修概要:	1) 当院の脳神経内科は7病棟(218床)あり、専門性の異なる8名の医長で統括運営されています。それぞれ特色ある病棟をローテートし臨床医としての研鑽を積みます。専門性をより深めるため、自らに適した病棟を選択する事も出来ます。さらに、神経に関する各診療科(神経生理・神経放射線・神経病理・高次脳機能・リハビリテーション・精神・神経耳科・神経眼科の8部門)の研修も並行して行います。研修の成果として専門医試験は一回での合格を目指します。 2) 研究テーマを共有する部長・医長から直接的な指導を受け、臨床研究を行い、論文執筆や学会発表を行いながら、コース修了後の博士研究テーマを見出します。 3) 神経病院の将来を支える人材としての自覚を持ち、若手医師の教育や多職種連携チーム活動、病院運営などに積極的に関わります。
-------	--



※病棟主治医は脳神経内科7病棟を、3～6か月ごとにローテート

※臨床研究・国内国際学会発表・論文作成を指導バックアップ

7つの病棟・
8つのサブスペシャリティを研修

東京都立神経病院の研修

全国最大規模 高度で幅広い専門性

脳神経内科は7病棟(計218床)、神経内科専門医は28名と、きわめて多く、十分な指導体制にある。7つの病棟はそれぞれ専門性を持った医長が管理・運営している。レジデントは豊富な症例を経験しながら、各分野の最新の知識と技術を身につけることができる。全国有数のERを持つ多摩総合医療センターと連携した神経救急医療も充実している。

01



02

地域連携・多職種連携による 切れ目のない神経難病診療

診断や初期治療から在宅診療、終末期緩和ケア、病理解剖まで、神経難病のすべてを自分の目で確かめ、疾患と患者の全容を把握できる。認定難病看護師や特定認定看護師、リハビリテーションの療法師などが院内の多職種チームで活動し、摂食嚥下や呼吸器装着をサポートしている。

神経領域の8つの サブスペシャリティを研修

7つの病棟での研修と並行して、神経に関する各診療科(神経生理・神経放射線・神経病理・高次脳機能・リハビリテーション・精神・神経耳科・神経眼科の8部門)でのサブスペシャリティ研修も行う。

03

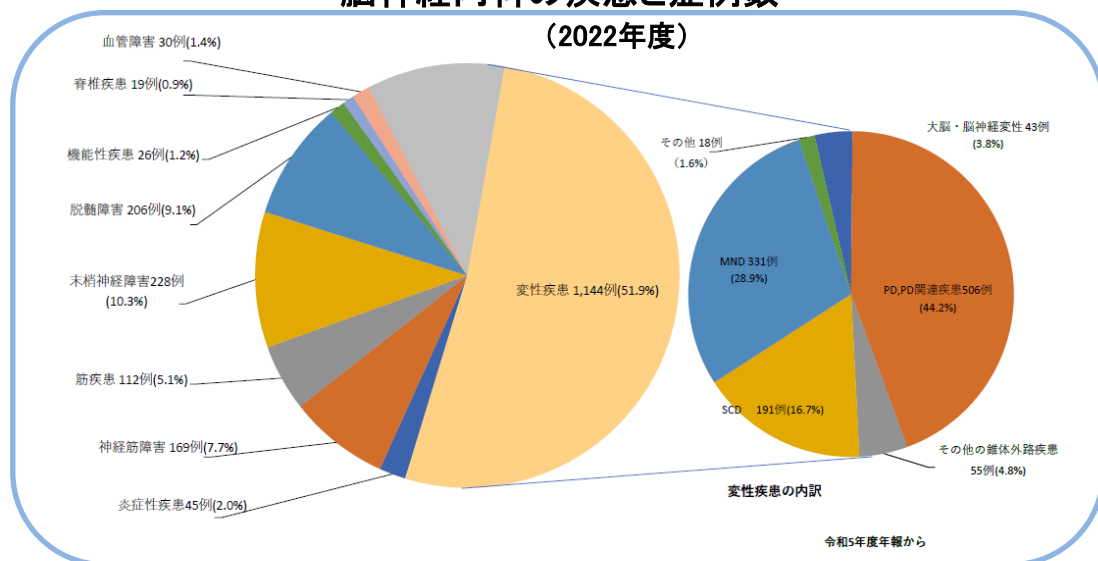
4つの 特徴

学会発表・論文執筆から 博士研究へ

当院の使命として、神経難病の病態解明と治療のための研究を運営理念にも掲げており、レジデントも積極的に研究活動に参加している。コース修了後は大学院進学その他、当院で働きながら東京都医学総合研究所で研究し、医学博士を目指す進路もご紹介している。

04

脳神経内科の疾患と症例数 (2022年度)



豊富な回診・カンファレンス・講義

* 回診

毎週火曜午前、新患カンファレンスでプレゼンし、新患患者の院長回診に帯同することで、高度な診療技術と最新の学術的知識に触れることができる。
火曜午後は病棟入院患者全員を部長・医長と回診する。

* カンファレンス

名称	開催頻度
病棟カンファレンス	週1回(月)
症例検討会(CC)	週1回(火)
Journal Club(抄読会)	週1回(火)
臨床病理検討会(CPC)	月1回(水)
病理示説(Brain Cutting)	月2回
高次機能カンファレンス	月1回
脳波カンファレンス	週1回(金)
臨床神経生理勉強会	週1回(金)
神経筋電気診断(筋電図)カンファレンス	月2回(火)
多摩キャンパス神経カンファレンス	年2回
都立病院神経内科合同症例検討会	年2回
放射線科読影カンファレンス	不定期
Tama translational Medical science forum	年1回



各分野のエキスパートによる講義

* 講義：医師アカデミー講義と神経生理講義

レジデントを含む若手医師に、各分野のエキスパートが臨床に直結した講義を行う。

日時	講義内容	講師	会場
2024年	神経学的診察法	脳内	2F 会議室
4月17日(水)	17:00~17:45	高橋	
	17:45~18:30	熊田	
6月5日(水)	神経耳科	神耳	2F 会議室
	17:45~18:30	熊田	
6月12日(水)	てんかん外科	脳外	2F 会議室
	17:45~18:30	松尾	
7月10日(水)	てんかんの病態・診察・薬物療法	小児	2F 会議室
	17:45~18:30	福田	
9月20日(金)	神経眼科	神眼	2F 会議室
	17:45~18:30	山田	
10月9日(水)	脊髄・脊髄外科	脳外	2F 会議室
	17:45~18:30	高井	
10月18日(金)	神経放射線科 総論	放射	2F 会議室
	17:45~18:30	中田	
11月6日(水)	神経放射線科 各論	放射	2F 会議室
	17:45~18:30	中田	
11月13日(水)	中枢神経系脱髄性疾患	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	藤	
11月27日(水)	多系統萎縮症	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	飛澤	
12月4日(水)	運動ニューロン疾患	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	林	
12月25日(水)	パーキンソン病(Ⅱ)-PDの外科治療とジストニア	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	池澤	
2月5日(水)	神経病理 総論	検査	2F 会議室
	17:45~18:30	小森後任	
	遺伝性脊髄小脳変性症	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	菅谷	
	高次脳機能	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	角南	
	臨床遺伝学と遺伝カウンセリング	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	長岡	
	筋疾患-1 総論(病歴、身体所見、筋生検)、筋炎	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	漆葉	
	筋疾患-2 筋画像、遺伝性筋疾患	小児	2F 会議室
	17:45~18:30	石山	
	認知症	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	井上	
	論文執筆の意義と基礎知識	脳内	2F 会議室
	17:45~18:30	齊藤	
	リハビリテーション(神経難病を中心に)	リハ	2F 会議室
	17:45~18:30	早乙女	
	神経疾患における精神症状-診断と治療- 精神	精神	2F 会議室
	17:45~18:30	日野	
	学会発表・プレゼンテーションの仕方	小児	2F 会議室
	17:45~18:30	石山	

レジデントとコース責任者より一言

神経内科コース 和田 隆秀
臨床研修委員長 脳神経内科部長 蔵 陽子



Dr. Wada

私は卒後6年目から医師アカデミー制度で神経病院にて研修をしています。研修して1年間を終え、当院で研修するメリットについて説明させていただきます。

一つはやはり神経疾患専門病院として国内随一の病床数とそれに支えられた豊富な症例かと思います。脳神経内科は多岐の分野に渡る多疾患を対象とし、その診断、治療に難渋することを少なからず経験します。論文、参考書など疾患に関する情報を得ることは近年非常に簡単になりましたが、臨床の現場で最も重要になるのは、その症例を診療したことがあるという経験だと思います。当院ではまさにその経験を積むことができます。

また末梢神経病理、筋病理に関する院内での勉強会や脳波勉強会など、自己学習に加えた研鑽の機会も非常に豊富です。自然と生検した病理標本を自分で確認しようという意識を持つようになりましたし、脳波の判読にも自信を持つことができました。

最後に、神経病院には出身大学の学閥などはありません。みなさん、出身大学や年次など忘れて毎日一緒に仕事をしています。経歴も様々で、脳神経内科の診療を学びたいという気持ちがあれば、全面的に協力していただけます。

私自身まだ脳神経内科医として未熟ですが、都立神経病院という歴史ある病院で、恵まれた環境や周囲の方々の支えのもと有意義な研修ができていると切に感じています。神経分野に興味がある方は、ぜひとも当院に見学にいらして下さい。心よりお待ちしております

私たち都立神経病院は、脳神経内科だけで7病棟・200床以上もある、世界でも有数の神経専門病院です。毎週40～50名の神経難病患者さんが入退院し、脳炎やギラン・バレー症候群で集中治療を行う急性期の患者さんも大勢います。また、診断や初期治療から呼吸器装着、リハビリテーション、在宅診療、終末期緩和ケア、病理解剖まで、神経難病のすべてを自分の目で確かめることができます。そのため神経内科専門医試験の合格率はほぼ100%です。

都立神経病院では、初期研修後の方が4年間で内科と神経内科の2つの専門医を取得できるコースと、内科修了後の方が神経内科専門医を目指すサブスペシャリティ・コースを設置してきました。この度、サブスペシャリティ・コースとして脳神経内科の神経生理・認知症・てんかんコースと、小児神経コースを増設し、これまで以上に専門性の高い研修が可能になりました。

令和11(2029)年の新病院開設に向けて、一緒に神経病院をさらに発展させる意欲ある医師を募集します。全国最大規模を誇る神経専門病院で、格段に豊富な症例を診療しながら、国際学会や論文執筆にも挑戦してください。後期研修を修了した後は、当院で働きながら東京都医学総合研究所で研究し、医学博士号を目指す道もあります。皆さんの期待を裏切らない研修ができるはずです。ご見学申し込みを心よりお待ちしております。



Dr. Warabi

B 臨床神経生理学会専門医コース

C 認知症学会専門医コース

D てんかん学会専門医コース

診療科:	脳神経内科
目標の資格:	日本臨床神経生理学会専門医(脳波、筋電図・神経伝導分野) 日本認知症学会専門医 日本てんかん学会てんかん専門医
特長:	脳神経内科履修後の方が上記の各専門医資格を目指すコースです。
条件:	神経内科専門医の方、または神経内科専門医試験受験要件を満たした方で、神経病院に採用された方 若干名
研修期間:	1～3年(研修進捗状況に応じて雇用期間更新の可否を毎年決定)
注意点:	院外研修はできません。

目標とする 専門医受験資格	日本臨床神経生理学会専門医(脳波、筋電図・神経伝導分野)																
研修概要	【特徴】 1 神経内科専門医取得後に、脳波、筋電図・神経伝導の専門医を目指すコースである。 2 学会認定の教育施設として多くの専門医・指導医を擁する当院で、充実した研修を幅広く受けることができる。 【概要】 1 当院の脳神経内科は全国最大規模の7病棟(218床)を誇り、あらゆる神経疾患患者の診療を経験できる。病棟および外来で臨床医としての研鑽を積みながら、サブスペシャリティの実践的な研修を行う。 2 多職種連携や在宅診療、社会福祉政策面、学会活動などへも参画し、専門医としての包括的な姿勢を身につける。 3 学会発表や論文作成を通じてリサーチマインドを涵養し、臨床に根ざした独創的研究に着手できるよう指導する。カンファレンスや勉強会は非常に多く、学習や発表の機会が豊富にある。 4 コース修了後は専門医資格を取得し、引き続き臨床、教育、研究に研鑽し、脳神経内科の中堅医師として活躍する。 【目標】 1 継続的に3年以上の日本臨床神経生理学会会員歴があり、学会が定める学術大会や講習会に参加の上、脳波レポート5例もしくは筋電図・神経伝導検査レポート5例を提出の上、学会が定める専門医試験を受ける。 2 臨床神経生理学の専門家としての、診療・教育・研究を行う。1の検査のみならず、誘発電位、反復刺激検査、磁気刺激検査、神経・筋エコー検査などの研修も行う。院内で行われている症例検討会・筋電図検討会に積極的に参加する。 3 臨床神経生理学を基軸とした様々な臨床研究にも携わり、学会発表・論文発表を目指す。最終的に国際臨床神経生理学会学術大会(ICCN)での発表が目標である。 4 専門医取得後は、指導医や評議員を見据えて学会活動に貢献し、都立病院のブランド力向上に寄与する。																
	研修モデルコース	★3か月ごとのローテーション★ <table><tr><th></th><th>4月</th><th>7月</th><th>10月</th><th>1月</th></tr><tr><td>1年次</td><td>病棟/外来主治</td><td>医・サブスペ実習</td><td>・指導医スキルを</td><td>磨く・臨床研究</td></tr><tr><td>2年次</td><td>病棟/外来主治</td><td>医・サブスペ実習</td><td>・指導医スキルを</td><td>磨く・臨床研究</td></tr></table> ※病棟主治医は脳神経内科7病棟と8つの各診療部門をローテーション ※臨床研究・国内国際学会発表・論文作成を指導バックアップ ◎ 院外研修はできません。		4月	7月	10月	1月	1年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究	2年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究
		4月	7月	10月	1月												
1年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究													
2年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究													



認知症学会専門医コース

目標とする 専門医受験資格	日本認知症学会専門医															
研修概要	【特徴】 1 神経内科専門医取得後に、日本認知症学会専門医を目指すコースである。 2 学会認定の教育施設として多くの専門医・指導医を擁する当院で、充実した研修を幅広く受けることができる。 【概要】 1 当院の脳神経内科は全国最大規模の7病棟(218床)を誇り、あらゆる神経疾患患者の診療を経験できる。病棟および外来で臨床医としての研鑽を積みながら、サブスペシャリティの実践的な研修を行う。特に7名の日本認知症学会専門医が在籍し、三大認知症をはじめ、認知症をきたしうる神経変性疾患の豊富な診療・研究の実績がある。物忘れ診断外来を毎週行っており、レカネマブや今後上市される新規薬剤などによる治療にも積極的に取り組んでいる。神経心理診察についても専門的に学ぶことができる研修環境である。 2 多職種連携や在宅診療、社会福祉政策面、学会活動などへも参画し、専門医としての包括的な姿勢を身につける。 3 学会発表や論文作成を通じてリサーチマインドを涵養し、臨床に根ざした独創的研究に着手できるよう指導する。カンファレンスや勉強会は非常に多く、学習や発表の機会が豊富にある。 4 コース終了後は専門医資格を取得し、引き続き臨床、教育、研究に研鑽し、脳神経内科の中堅医師として活躍する。 【目標】 1 日本認知症学会専門医受験に必要な症例報告書に必要な症例数(3症例)は短期間で経験可能で、専門医として特に重要視されている診断、治療方針・計画、治療やケアの実践について、主治医としての思考過程や患者・家族への説明・働きかけなどについて深く経験し、実践・考察する。認知症専門医として相応しい医学的素養、臨床技能、医療に対する姿勢を身につける。 2 神経内科専門医として、診療、教育、研究を行う。神経病院の将来を支える人材としての自覚を持ち、若手医師の教育や多職種チーム活動、病院運営、他の都立病院との合同カンファレンスの運営などに積極的に関わる。 3 サブスペシャリティ学会の専門医取得後は、指導医や評議員を見据えて学会活動に貢献し、都立病院のブランド力向上に寄与する。															
研修モデルコース	★3か月ごとのローテーション★ <table><tr><td></td><td>4月</td><td>7月</td><td>10月</td><td>1月</td></tr><tr><td>1年次</td><td>病棟/外来主治</td><td>医・サブスペ実習</td><td>・指導医スキルを</td><td>磨く・臨床研究</td></tr><tr><td>2年次</td><td>病棟/外来主治</td><td>医・サブスペ実習</td><td>・指導医スキルを</td><td>磨く・臨床研究</td></tr></table> ※病棟主治医は脳神経内科7病棟と8つの他診療科をローテーション ※臨床研究・国内国際学会発表・論文作成を指導バックアップ ◎ 院外研修はできません。		4月	7月	10月	1月	1年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究	2年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究
	4月	7月	10月	1月												
1年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究												
2年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究												



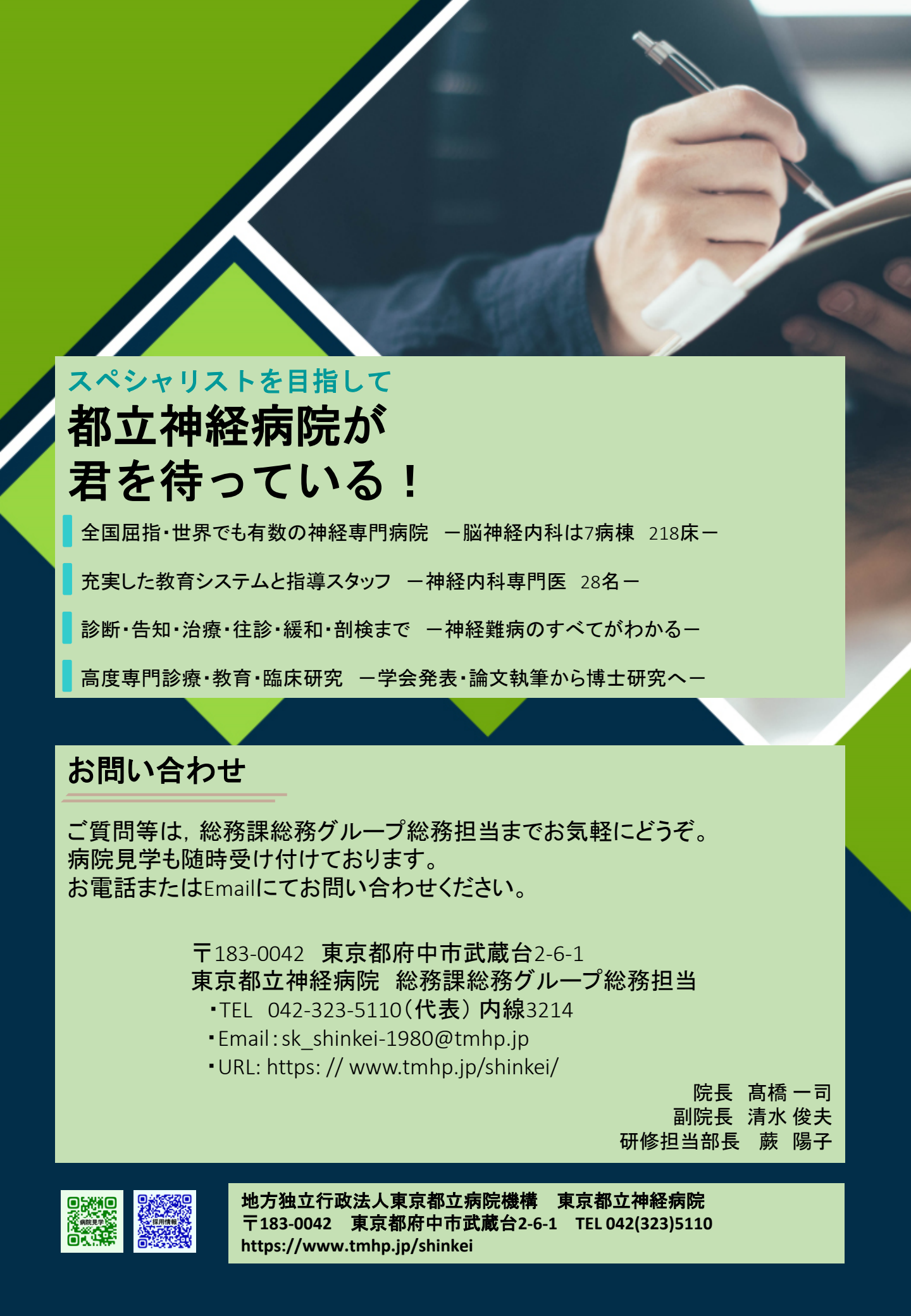
てんかん学会専門医コース

目標とする 専門医受験資格	日本てんかん学会てんかん専門医																				
研修概要	【特徴】 1 神経内科専門医取得後に、日本てんかん学会専門医を目指すコースである。2 日本てんかん学会認定の教育施設の3次てんかん専門施設として包括的 てんかん診療を行っており、多くの専門医・指導医を擁する当院で、充実した研修を幅広く受けることができる。 【概要】 1 病棟および外来で臨床医としての経験を積みながら、長時間ビデオ脳波モニタリング（成人EMU2床）を含むてんかん診療の実践的な研修を行う。また、当院の脳神経内科は全国最大規模の7病棟（218床）を誇り、あらゆる神経疾患の診療を経験できる。 2 脳神経外科、神経小児科、神経精神科にてんかん専門医が複数名在籍しており、てんかん治療総合センターの一員として、手術適応症例を含む幅広い症例を経験できる。また、多職種連携や社会福祉政策面、学会活動などへも参画し、専門医としての包括的な姿勢を身につける。 3 月1回のてんかんboardでは診断や手術適応などを討議し、多職種からなるてんかん診療連絡協議会では脳神経外科、神経小児科、神経精神科と連携してテーマに沿った活動を行う。週1回の脳波カンファレンス（系統的なレクチャーと判読の実践）が用意されており、脳波報告書作成をハンズオンで指導する。 4 隣接する多摩総合医療センターからのcritical care EEGのコンサルトも多く、重積例も多く経験できる。 5 コース終了後は専門医資格を取得し、引き続き臨床能力を研鑽し、脳神経内科の中堅医師として活躍することができる。 【目標】 1 日本てんかん学会指定の、種々の病型を含む 50 例の具体的なリストおよび症例詳細記述 5 例を満たす症例経験を行い、専門医取得を目指す。 2 脳波判読、てんかん診療のスペシャリストとして、手術適応の判断やコンサルトに対応できることを目標とする。																				
研修モデルコース	<table><tr><td></td><td colspan="4">★3か月ごとのローテート★</td></tr><tr><td></td><td>4月</td><td>7月</td><td>10月</td><td>1月</td></tr><tr><td>1年次</td><td>病棟/外来主治</td><td>医・サブスペ実習</td><td>・指導医スキルを</td><td>磨く・臨床研究</td></tr><tr><td>2年次</td><td>病棟/外来主治</td><td>医・サブスペ実習</td><td>・指導医スキルを</td><td>磨く・臨床研究</td></tr></table> ※病棟主治医は脳神経内科7病棟と8つの各診療部門をローテート ※臨床研究・国内国際学会発表・論文作成を指導バックアップ ◎ 院外研修はできません。		★3か月ごとのローテート★					4月	7月	10月	1月	1年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究	2年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究
	★3か月ごとのローテート★																				
	4月	7月	10月	1月																	
1年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究																	
2年次	病棟/外来主治	医・サブスペ実習	・指導医スキルを	磨く・臨床研究																	



小児神経専門医コース

目標とする 専門医受験資格	日本小児神経学会専門医
研修概要	【特徴】 小児科全般を研修後、小児神経の専門医を研修するコース。 【特色】 1 当科には、小児神経学全般はもちろん、不随意運動、てんかん、神経・筋疾患、遺伝学などを指導できる専門医が揃っている。 2 院内の脳神経内科や脳神経外科との連携も緊密で、検査部門(神経放射線、神経生理、神経病理)も充実している。 3 隣接する東京都立小児総合医療センターの総合診療科や神経内科とも強く連携している。 4 このため、外科治療を含む不随意運動ならびにてんかんの診療、神経免疫疾患、代謝・変性疾患、神経・筋疾患、脳炎・脳症を含む神経救急など、小児神経学を幅広く、かつ、深く学ぶことができる。 5 院内のカンファレンスや勉強会は大変充実し、学会発表も盛んである。 【目標】 1 小児神経疾患を幅広く経験し、日本小児神経学会専門医委員会が定める「小児神経専門医のための到達目標・研修項目」を達成する。 2 経験した症例の学会報告ならびに論文執筆を積極的に行う。 これにより疾患の理解を深めるとともにリサーチマインドを涵養して、臨床研究につなげる。 3 日本小児神経学会専門医取得を目指す。 さらに、関連学会(日本てんかん学会、日本臨床神経生理学会、日本人類遺伝学会など)の専門医取得の準備をする。
研修モデル コース	1年次 病棟・外来主治医、在宅診療、脳波(ビデオ脳波同時長時間記録)、神経生理検査、頭部画像、筋生検、学会発表 2年次 病棟・外来主治医、在宅診療、脳深部刺激療法ならびにてんかん外科、遺伝カウンセリング、論文執筆ならびに臨床研究 ※ 研修年限は3年間を上限とする



スペシャリストを目指して 都立神経病院が 君を待っている！

全国屈指・世界でも有数の神経専門病院 ー脳神経内科は7病棟 218床ー

充実した教育システムと指導スタッフ ー神経内科専門医 28名ー

診断・告知・治療・往診・緩和・剖検まで ー神経難病のすべてがわかるー

高度専門診療・教育・臨床研究 ー学会発表・論文執筆から博士研究へー

お問い合わせ

ご質問等は、総務課総務グループ総務担当までお気軽にどうぞ。
病院見学も随時受け付けております。
お電話またはEmailにてお問い合わせください。

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-6-1
東京都立神経病院 総務課総務グループ総務担当
・TEL 042-323-5110(代表) 内線3214
・Email: sk_shinkei-1980@tmhp.jp
・URL: <https://www.tmhp.jp/shinkei/>

院長 高橋 一司
副院長 清水 俊夫
研修担当部長 蕨 陽子



地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立神経病院
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-6-1 TEL 042(323)5110
<https://www.tmhp.jp/shinkei>